




3DS 部品データの取り込み方法【部品配置】

文書管理番号：1058-02


Q. 質問

3DS 形式の部品データを、A's（エース）の部品として使用できるようにしたい。


A. 回答

3DS ファイルは、 (プラン図) や  (屋根伏図)、 (外構図) の部品配置のインポートから取り込んで、A's（エース）で使用することができます。

部品配置のインポートからは、3DS、SKP、FBX の形式の 3D 部品データを取り込むことが可能です。

ここでは、食器棚のカップボードの部品の 3DS ファイルを例に、 (プラン図) の内観部品での登録方法を説明します。

【参考】

3D 部品データ (3DS、SKP、FBX、3DDXF 形式のファイル) は、 (3次元部品作成) から取り込みが可能です。

3次元部品作成からの取り込み方法については、こちらをご覧ください。

[\[1059\] 3DS 部品データの取り込み方法【3次元部品作成】](#)

【注意】

3DS ファイルにテクスチャ (部材色) ファイルが伴う場合は、以下のフォルダにテクスチャ (部材色) ファイルをコピーしてください。

A's (エース) のインストール先 (初期設定のままなら C ドライブ)

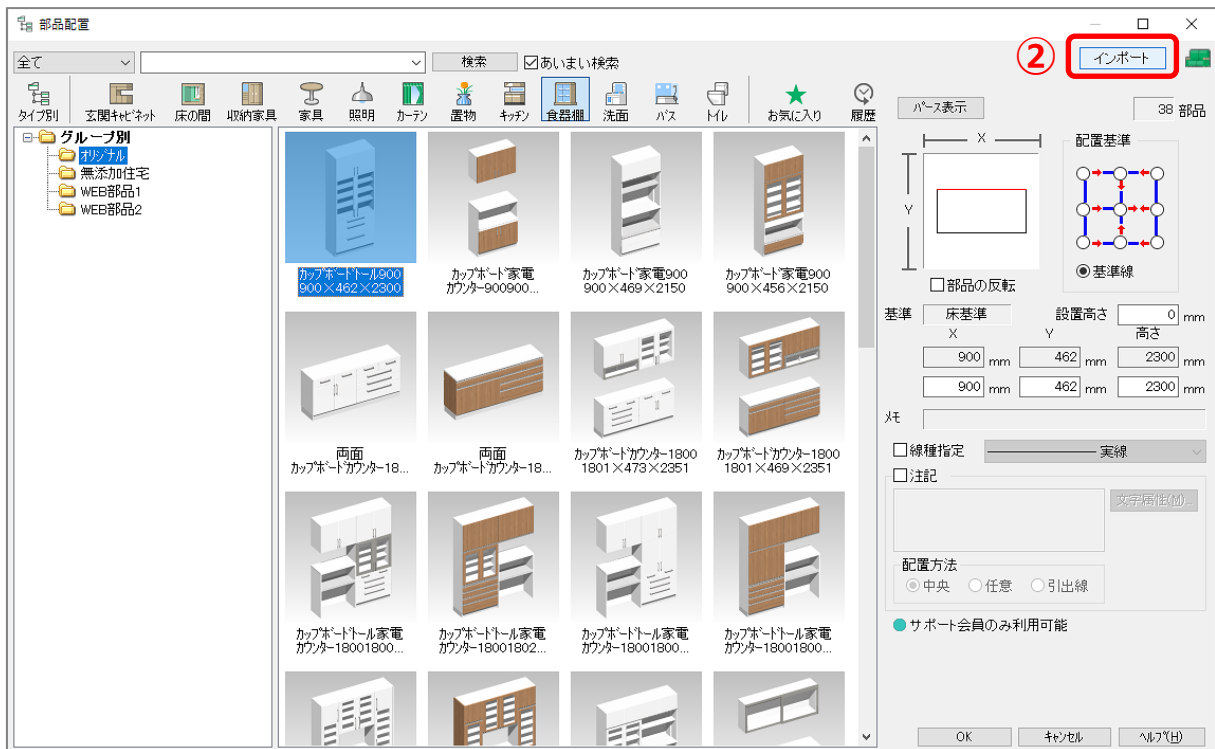
⇒ 「CPU」フォルダ ⇒ 「A's」フォルダ ⇒ 「TEXTURE」フォルダ ⇒ 「3DS」フォルダ

操作手順

- ① (プラン図)で、 (内観部品)から、 (食器棚)をクリック

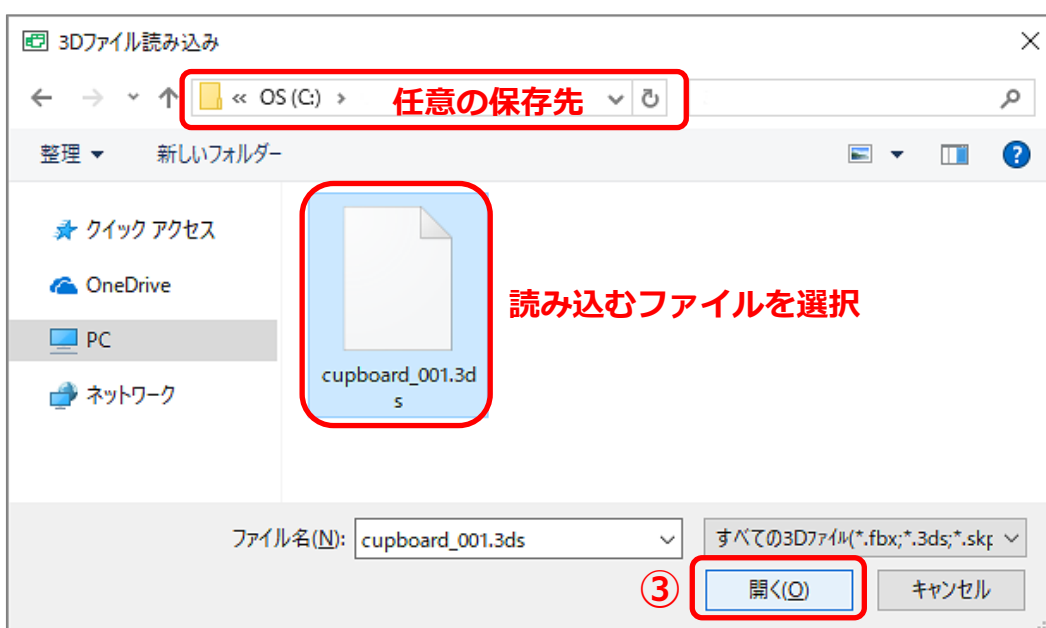
* 部品配置の画面が表示されます。

- ② 画面右上にある「インポート」をクリック



* 3D ファイル読み込みの画面が表示されます。

- ③ 3DS ファイルの保存先を選択し、読み込みたい3DS ファイルを指定し、「開く」をクリック



* インポート設定の画面が表示されます。

④ サイズを確認後、名称を「カップボード」に変更

* インポートする部品を、断面図、矩計図、展開図にも表現させたい場合は、「詳細設定」から設定できます。

出力設定の

「矩計-断面表現」

「矩計-展開表現」

「展開-断面表現」

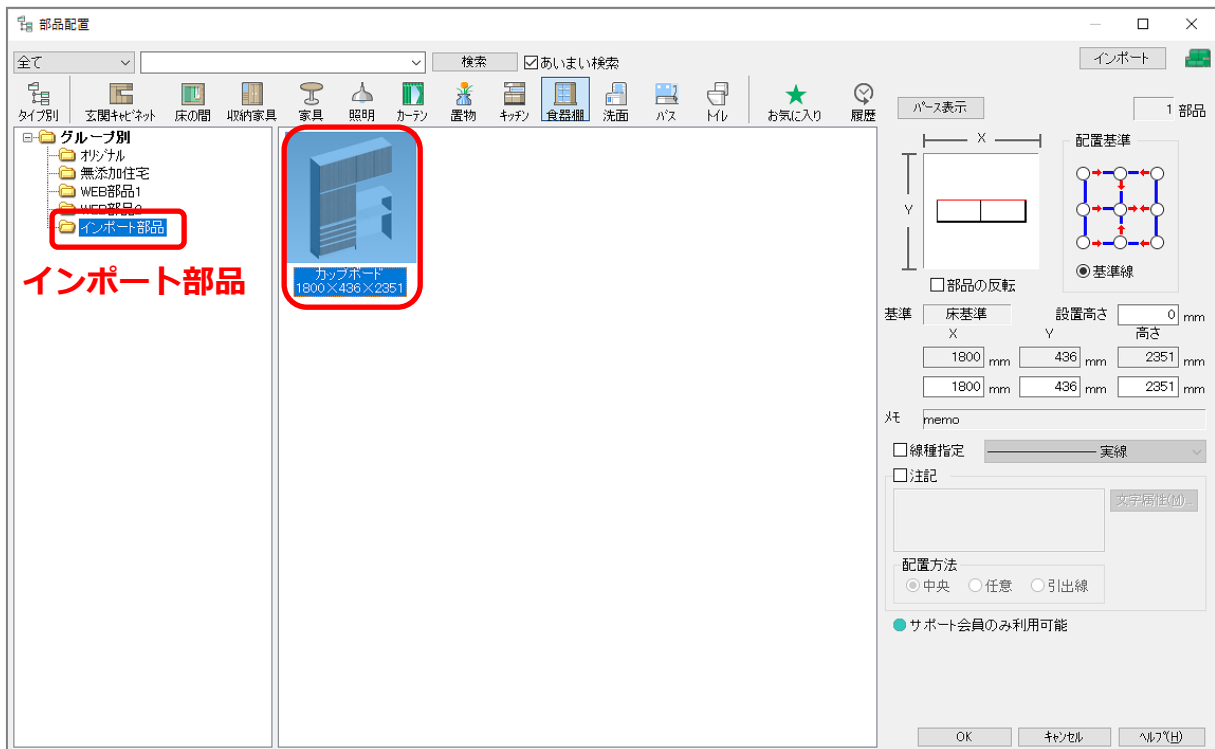
「展開-展開表現」

の4つにチェックを入れてください。

チェックを入れると、自動的に外郭線を認識し、2D断面と立面の図面を作成します。


⑤ 他の項目は初期設定のまま、「OK」をクリック

- * 登録処理後、部品配置の画面の左側のツリー表示に「インポート部品」フォルダが作成され、そこに「カップボード」が登録されます。



【注意】

インポートにかかる時間は、部品により異なります。面の数が多い部品は、時間がかかることがあります。

⑥ プラン図の任意の位置に配置し、 (3D パース)で確認



参考

部品配置のインポートから取り込んだ際には、以下の情報が自動で作成され、部品と一緒に登録されます。

- 部品サムネイル
- 2D 平面
- 2D 外郭線・基準線・外郭領域
- 2D 断面・立面表現（チェックを入れた場合）

また、インポート設定画面の各項目の初期値は、以下のようになっていますので、任意に変更してください。

インポート設定
×

名称 ←初期値はファイル名

種類別分類 ←初期値は選択時の分類

立面基準 設置高 mm

↑ 初期値は分類で異なる

縮尺と基準設定

単位 方向

倍率 配置モード ← 初期値は分類で異なる

サイズ ← 外郭の最大寸法 (XYZ)

▼詳細設定

↓ 初期値は基準線

配置基準

基準線

出力設定

画像出力
 平面図図面出力
 矩計-断面表現
 矩計-展開表現
 展開-断面表現
 展開-展開表現

↑ 初期値は、画像出力・平面図図面出力のみ ON

積算フラグ